

にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない)

感想

この小説の第2の主人公の綾部香織は、病気をわずら、こいて、余命宣告をされているのに、残りの時間を楽しく住ごそつと毎日いろんなところに出入りしている女の子です。こんなおてほんのような人生はあるのかと私は思いました。今自分が病気になるたら、余命宣告までとされては、たろと考えて見るとこんなことできまるか？私はたぶん無理です。そんな環境の中で住ごつている彼女のしほいに私はひれましました。たろこそ、死にさかひで彼女は涙を流したんだと私は思っています。そつでなければ、彼女は涙を流さず笑って死んでいったのではなからと私は考えました。それを作者はこつまとめていました。"死を受け入れない時期から始まり、それを現実だと認めると自暴自棄になって、それすらも越えると虚無感に苛まれ、そつて最後にはすべてを受け入れる。と。彼女はそつすべてを受け入れていたんだとこれを読んだ時に分りました。この世界には、生きたくても生き永る人たたくこんいる、それが病気、環境問題や寿命まだはの理由があるたもしれない、そんな人達とくらべると私達はとても幸なんだとじっかんしました。なので、これからは、私もそつたろつど、はの人も人達も"命"といつともしひを自分の手でうばうぶなことはせず生きていつてほしいと思つました。時にはくるしいことがあるたもしれない、でもそれをのりこえていくことに意味がある思っています。

学校名	観音寺市立観音寺中学校
(学年)	(2年)
書名	一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない
著者/出版社	冬野夜空/スターツ出版



にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(努力の大切さ)

感想 私が小公女セーラを読んで一番心に残った場面は

いじめられても前向きに明るく過ごす場面です。私だったらいじめられ
たら前向きになんていられないし、泣いちゃうかもしれないけれど、
セーラは必死にたえ続け、毎日一生けんめい努力する姿はとても
かっこ良く見えました。

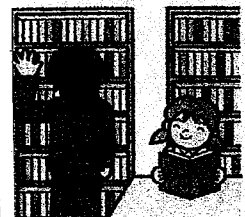
セーラは誰にでも平等に人と接することができる心やさしい子です。
いじめてきた人たちにもやさしく笑いかけることができるのはセーラに
しかできないことだなと感じます。

苦しい日々が長い間続きましたがセーラは1日も努力することを
やめませんでした。最終的にはセーラは幸せに暮らせるようになった
のはきっと努力をせめずにがんばったからだと思います。

努力はうらぎらないという言葉は本当なんだと思いました。セーラの
ようにあきらめない心を持つことが大事だと感じました。

私も努力を続けられるおてきな人になりたいとこのお話を
読んで思いました。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	芳澤 理子(1年)
書名	小公女セーラ
著者/出版社	フランシス・ホジソン・パーネット/学研



にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(当たり前は、当たり前じゃない!)

感想

僕は「くらべて分かる地球のこと」という本を読みました。この本で印象に残った言葉は、「限りあるものを大切に」です。朝日新聞社の中山由美さんが取材した南極大陸は雪と氷におおわれていて、水を手に入れるのが困難で電気もかなり節約しなければならなか、たとかかかれています。僕もこれと同じ環境で生活しないといけないと考えると、改めて日常のありがたみが分かりました。今の日本では水道の蛇口をひねれば水は出てくるし、スイッチを押せば電気がつきます。僕もこれまであまり気にしておらず、「ちょっとぐらいいいや」と思い電気を消すのを忘れていたりしていました。しかしこれを読むとしせんに大切に使うといけないなという気持ちがあります。そんなことを意識して生活し、「限り

ある資源」の無だ使いを止められるよう取り組んでいきたいです。

学校名	高松市立牟礼中学校
(学年)	(1年)
書名	北極と南極のへえ〜くらべてわかる地球のこと
著者/出版社	中山由美/学研プラス



にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(ただ、心が動いたら、それだけで「トライする理由」になると思います。)

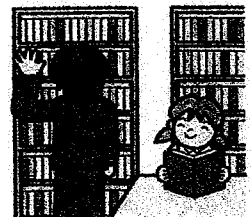
感想

この本は、仕事や人生に生き詰まっていた人たちがいる図書室に訪れます。そして、その司書や本、本の付録などとの出会いで背中を押され、未来への自信を持つようになる物語です。

また、物語を読み進めていくにつれて、読者の心も動かされるような言葉がたくさん出てきます。登場人物が出会う本たちも種類が豊富でもおもしろかったです。例えば、絵本や図かん、詩集などです。その本は、実際にある本ばかりなので、より感情移入することができました。

私は、この本を読み終えて人とのつながりの大切さを実感しました。人との関わり方や会話の仕方など一つ一つを意識して、人の心を動かせる人になりたいと思うことができた本でした。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	谷川 美波(1年)
書名	お探し物は図書室まで
著者/出版社	青山美智子/ポプラ社



にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

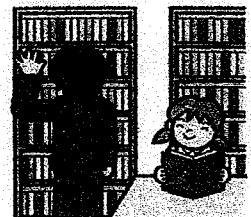
(おいで、アラスカ! を読んで)

感想

私が1番心に残った場面は、強盗を追いかけているときにゴールデンレトリバーのアラスカがてんかん持ちのスフェンの発作を予知して吠えたところでした。そして元アラスカ飼い主のパークルは強盗を追いかけるのをやめ、スフェンを寝かせます。その瞬間本当に発作が起こります。私は言葉が通じなくても心が通じ合っていた感じがして感動しました。また、スフェンはアラスカという目立ってしまうためアラスカのことを邪険にしていたが、このことをきっかけに仲良くなることができました。このことからスフェンはアラスカを認め、自分にもいかり向き合えたのかなと思いました。

この本を読みまして私は、「人と違うことがあるのは悪いことだ」と思っていたが、読んだあとは「人はみんなそれぞれ違って、それは個性である」と気づくことができました。これからはまわりと違うことを恐れず、自分らしくと大事にして生きていきたいです。

学校名	高松市立牟礼中学校
(学年)	(2年)
書名	おいで、アラスカ!
著者/出版社	アンナ・ウォルツ/フレーベル館

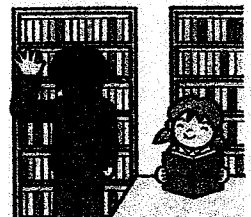


1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(主人公が最後、(大)崩壊に突撃する場面)

感想 第二次世界大戦中、主人公の宮部久蔵は命を無駄にせず、家族のために生き帰るにだけ考え、戦争の任務を行っていました。しかし、最後は自分自身も特攻隊に志願をし、戦死してしまいました。この場面を讀んで、前に家族や友達と過ごせることや食べる物や着る物も困らずに生活が出来ることに改めて感謝しなければなりません。当時の戦争は国のため「みんなやれる(やらなければならぬ)」という暗黙の了解があり、生きたい「戦争に行きたくない」と思ってもそれを口に出さず、我慢を強いられたことを讀んでいて感じました。でも、みんな生きたがたはすだし、やりたい事もあつたはずですがそれを出来ずに亡くなっていた方々がたくさんいます。戦争で何を失ったのか、人々が奪ったものか、自分が亡くなった方の幸せを奪ったことは確かだと思つた。戦争を聞くと、遠く昔のこと、自分には全く関係のないことだと感じてしまつた。そういった時代があつたことや今も世界に目を向けると苦んでいる人がいます。今の生活に感謝しつつも戦争のことを決して忘れてはならない悲劇を起さなければならぬと思つていました。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	常包 匠紀(2年)
書名	永遠の0
著者/出版社	百田直樹/講談社



にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

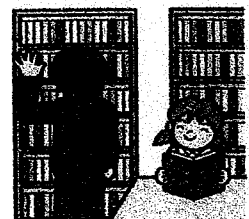
(多様性について考える)

感想

僕がこの本を読んで、「多様性は、うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだと母ちゃんは思う」という言葉が心に残った。

多様性について深く考えることができ、自分は意識していなくても、相手を傷つけてしまっていることがあるとわかった。例えば、「ハーフ」という言葉で傷つけている人がいるということにおどろいた。日本と外国では多様性に対しての考え方が違うということに衝撃を受けた。これからの人生で、様々な人と出会い関わりながら、できる限りではあるが、相手を傷つけないように考えて言葉を発していきたいと思う。考え方の違う人とも、お互いに理解し、認め合い、世界中の人が生きやすいと思える世の中になるように、まずは自分が行動力しようと思う。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	石川 大翔(2年)
書名	ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー
著者/出版社	ブレディみかこ/新潮文庫



1番心に残った □人物 □言葉 □場面 □その他

(「あやまちほくりかえしませんから」)

感想 私は「ある晴れた夏の朝」という本を読みました。この本は日本の長崎と広島に落とされた原爆の話です。主人公のメイは母親が日本人、父親がアメリカ人の日系アメリカ人です。メイは様々な民族のアメリカ人の高校生と原爆落下は時に必要だったのか原爆肯定派と原爆否定派に分かれて討論していきます。

私はこの本を読む前は原爆否定派でした。ですが、アメリカが日本に原爆を落とされた理由は日本に攻撃されたことへのリベンジなど、様々な理由も考えられ、すべてアメリカが悪かったわけでは無いのではと肯定派の意見を讀んで思いました。私が1番心に残ったのは原爆死者のための慰霊碑に刻まれた「あやまちほくりかえしませんから」という言葉です。理由は、この言葉の主語は日本人でもアメリカ人でもなく「人類」ということに驚いたからです。

私はこの本を読み終わっても原爆否定派という考えは変わりませんでした。原爆落下の背景についてたくさんのことと考えることができました。社会の先生が言っていた、自分たちがした悪いことよりもされた悪いことの方が記憶に残るという言葉は本当だなと思いました。原爆や人権差別、世界の平和についてなど、

この本で学んだことをこれからも考えていきたいと思いました。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	宮崎 楓(2年)
書名	ある晴れた夏の朝
著者/出版社	小手鞠るい/偕成社



1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(あの花が咲く丘で君とまた出会えたら)

感想

この物語は、主人公の百合が戦時中にタイムスリップをして、特攻隊員の彰に恋をする話です。私はこの物語から「生きることの大切さ」「戦争という言葉の意味」などを知ることができました。特に印象に残った場合は2つあり、1つ目は特攻隊員の彰たりに出撃命令が出された場面です。手が震えるほどつらく悲しいことだと思うが、笑顔で見送ろうという言葉に感動しました。私が百合だったら悲しくて一緒に逃げようと言ったと思います。でも彰が百合が生きても未来を変えたいからと言った言葉はどれも印象に残っています。2つ目は百合がタイムスリップから戻ってきて特攻資料館に行ったときです。彰の写真と手紙がありました。その宛て名は百合でした。内容は愛のこもったラブレターでした。その手紙を読んだ瞬間私も涙が溢れました。私もこの本を読んだから戦争について知りたいと思いました。そしてその分だけおんなに知ってほしいと思いました。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	小松 世奈(2年)
書名	あの花が咲く丘で君とまた出会えたら
著者/出版社	汐見夏衛/スターツ出版



にさん ろくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(「マスク越しのおはよう」)

感想

私がこの本と出会ったのは学校の図書室だ。制服を着てマスクやシールドをつけた5人の子が描かれた表紙。中でもヒョウ柄マスクの女の子に目が止まり、なんだか訳アリそうで気になり、手に取った。それぞれの事情を抱えた中学2年生の男女5人の物語。私と同学年で共感できることが沢山あった。中でも、ヒョウ柄マスクの渡辺芽那は母がお酒を出す店に勤めているため毎日妹のお世話を頑張っている。マスクを買いに行くことが出来ず、母からもらったヒョウ柄のスカフでマスクを作り、学校に向けて行くと皆から「ヒョウ柄マスクのプリセス」と呼ばれるようになった彼女。実は、私もマスクが品薄になっていた頃、祖母が花柄のハンカチでマスクを作ってくれたが正直、取っ手なくて一度も使うことが出来ず、今でも机の隅にしまっている。おばあちゃんゴメン……。こんな私と違って目立ってしまうことを恐れない、ヒョウ柄マスクをつけている芽那をカッコよく思えた。今の私には花柄マスクをつけて学校へ行く勇気はない。

また、芽那だけでなく他の4人の物語も読んで困った時、落ち込んだときに支えてくれる家族や友人の温かさや大切さを改めて実感し、感謝する機会が持てた。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	餅 ここあ(2年)
書名	マスク越しのおはよう
著者/出版社	山本悦子/講談社



にさん るくまる

23が60読書レビュー応募用紙(中学生)

1番心に残った 人物 言葉 場面 その他

(工藤 公康 さん)

感想

私がこの本と出会ったきっかけは、部活で自身の技術があまり上達せず、悩んでいたことです。この本には、ピアニストの小山実稚恵さんが、12人の「プロフェッショナル」と対談して得た気づきや考察が綴られていると知り、一つの道を極めた「プロフェッショナル」なら私の悩みを解決する手がかりになるのではないかと思い、本書を手にとりました。本書を読み進めていく中で、とても心に残る話をされている方がいました。それは福岡ソフトバンクホークスの元監督である工藤公康さんです。工藤さんは、「スポーツは“脱力”を極めるもの。」と話していました。思ってもいない点で、まさに目から鱗が落ちた瞬間でした。「脱力」を意識してから、私はとても成長を実感することができ、顧問の先生にもほめていただきました。この本は、目標や壁に挑戦するすべての人にそとヒントを差し出してくれると思います。私と同じように悩みをかかえた人にぜひ読んでもらいたいです。

学校名	高松市立牟礼中学校
氏名(学年)	清水 莉世(2年)
書名	点と魂とスイートスポットを探して
著者/出版社	小山実稚恵/KADOKAWA

